

シラバス

2024年度版



鍼灸マッサージ東洋医療科 3年B組

学校法人 赤門宏志学院

仙台赤門医療専門学校

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	浦山 久嗣 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学各論Ⅱ	曜日・時間	月曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な東洋医学の基本概念、診察法および治療法の概要を理解する。
 東洋医学の知識や技術を総合的に運用し、施術を適切かつ効果的に行う能力を修得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	ガイダンス、東洋医学の特徴
2	診察と治療の原理原則
3	カルテ(治療記録)の記載法
4	POMRとSAOP
5	取穴法と選穴法
6	要穴の種類
7	要穴の運用
8	刺鍼手技の種類
9	刺鍼法の種類
10	施灸法の種類
11	経絡学総論
12	舌診
13	問診
14	脈診
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	脈診演習
2	治療演習
3	病因病機学概論
4	弁証学Ⅰ(八綱弁証)
5	弁証学Ⅱ(気血津液弁証・病邪弁証)
6	弁証学Ⅲ(臓腑弁証①肝・心・肺)
7	弁証学Ⅳ(臓腑弁証②腎・脾・六腑)
8	弁証学Ⅴ(外感温熱弁証)
9	鍼灸医学史Ⅰ(医療と人類)
10	鍼灸医学史Ⅱ(古代・中世中国)
11	鍼灸医学史Ⅲ(古代・中世日本)
12	鍼灸医学史Ⅳ(近世中国)
13	鍼灸医学史Ⅴ(近世日本)
14	鍼灸医学史Ⅵ(近現代)
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	期末試験の成績を主とし、普段の授業態度等を加味して評価する。
授業の進め方	指定した教科書を主とし、不足分は配布資料を以て補う。
注意 (学生に望むこと)	予め授業分の内容は教科書に目を通しておくこと。 授業後は配布資料を確認し復習すること。
テキスト・参考書	『新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)』(南江堂2022年刊) 『これからの「脈診」の話をしよう!!』(たにぐち書店2018年刊)

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	古川雄一郎・三保翔平 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	臨床実習Ⅳ	曜日・時間	月・金曜日 3・4時限

【授業概要・目標】 ①患者と適切なコミュニケーションがとれる。②施術準備(補助)ができる。③基本的な事項について診療録に記載ができる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習前授業(Ⅰ)
2	臨床実習前授業(Ⅱ)
3	臨床実習(1)
4	臨床実習(2)
5	臨床実習(3)
6	臨床実習(4)
7	臨床実習(5)
8	臨床実習(6)
9	臨床実習(7)
10	臨床実習(8)
11	臨床実習(9)
12	臨床実習(10)
13	臨床実習(11)
14	臨床実習(12)
◆	—
15	臨床実習(13)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	臨床実習(14)
2	臨床実習(15)
3	臨床実習(16)
4	臨床実習(17)
5	臨床実習(18)
6	臨床実習(19)
7	臨床実習(20)
8	臨床実習(21)
9	臨床実習(22)
10	臨床実習(23)
11	—
12	—
13	—
14	—
◆	—
15	—

評価方法	知識の習得・身だしなみ・参加意欲などを総合的に評価する。
授業の進め方	臨床に必要な知識の習得、施術見学、環境整備、施術準備(補助)などを中心に行う。
注意 (学生に望むこと)	積極的に実習に参加してもらいたい。
テキスト・参考書	なし

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	川嶋 睦子 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学臨床論Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:50～

【授業概要・目標】
 臓腑と関連する症候(肝系統・心系統・脾系統・肺系統・腎系統)についての適応・不適応の鑑別。また西洋医学的・東洋医学的な考え方の病態・症状から、各疾患の鑑別方法について学習し、臨床に活かせる知識を習得する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	P181 第2節 臓腑と関連する症候 2-1 肝系統 I. 眼精疲労
2	P187 第2節 臓腑と関連する症候 2-1 肝系統 II. 気分障害
3	P198 第2節 臓腑と関連する症候 2-1 肝系統 III. めまい
4	P208 第2節 臓腑と関連する症候 2-2 心系統 I. 動悸・息切れ
5	P214 第2節 臓腑と関連する症候 2-2 心系統 II. 血圧異常
6	P222 第2節 臓腑と関連する症候 2-2 心系統 III. 睡眠障害
7	P232 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 I. 食欲不振
8	P232 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 II. 肥満
9	P246 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 III. やせ(るい瘦)
10	P252 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 IV. 悪心・嘔吐
11	P259 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 V. 便秘
12	P267 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 VI. 下痢
13	P275 第2節 臓腑と関連する症候 2-3 脾系統 VII. 歯痛
14	P282 第2節 臓腑と関連する症候 2-4 肺系統 I. 咳嗽と喀痰
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	P304 第2節 臓腑と関連する症候 2-4 肺系統 III. 鼻閉・鼻汁
2	P314 第2節 臓腑と関連する症候 2-5 腎系統 I. 脱毛症
3	P323 第2節 臓腑と関連する症候 2-5 腎系統 II. 耳鳴り・難聴
4	P335 第2節 臓腑と関連する症候 2-5 腎系統 III. 排尿障害
5	P346 第2節 臓腑と関連する症候 2-5 腎系統 IV. ED(勃起障害)
6	P439 第5節 女性特有の症状 I. 概説 P445 第5節 女性特有の症状 II. 月経異常
7	P459 第5節 女性特有の症状 III. 性器出血
8	P467 第5節 女性特有の症状 IV. 帯下
9	P474 第5節 女性特有の症状 V. 不妊症
10	P482 第5節 女性特有の症状 VI. つわり
11	P489 第5節 女性特有の症状 VII. 骨盤位(逆子)
12	P495 第5節 女性特有の症状 VIII. 乳汁分泌不全
13	P474 第5節 小児特有の症候 I. 概説 II. 疳の虫
14	P513 第5節 小児特有の症候 II. 疳の虫 III夜尿症
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験(80%)、小テスト(10%)、授業意欲(10%)から総合的に評価する。
授業の進め方	各項目の適応・不適応、西洋医学的・東洋医学的な考え方の病態・症状・鑑別方法を理解し、鍼灸臨床に応用できるようにする。
注意 (学生に望むこと)	配布プリント・課題の予習をして授業に臨んでください。
テキスト・参考書	新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)。履修内容順に講義を進行する。 ただし学生の能力に応じて変更有り。

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	渡部 正司 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	鍼灸理論 I	曜日・時間	火曜日 13:10～

【授業概要・目標】
 国試レベルの基礎応用と対応力を身につける。また、これまでの研究で明らかになっていることを紹介し、「鎮痛」を通して鍼灸の治効機序を学習していく。鍼灸の治効機序についてメディカルスタッフと議論できることを目標とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	第1章 概論(エビデンス 他)
2	第1章 概論 鍼灸施術の定義・鍼灸治療の特徴
3	第2章 鍼の基礎知識 用具・古代九鍼
4	第3章 刺鍼の方式と術式
5	第4章 特殊鍼法
6	第5章 灸の基礎知識 第6章 灸術の種類
7	第7章 リスク管理
8	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: はじめに-治療的作用・学説
9	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: はじめに-学説・経絡
10	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-軸索反射
11	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-運動系の調節 反射
12	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-運動系の調節 Ib抑制
13	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-内臓系の調節 上脊髄
14	第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識: 生体の調節-内臓系の調節
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	鍼灸治効機序 鍼鎮痛 概要
2	鍼灸治効機序 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 全身性鎮痛
3	鍼灸治効機序 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 脊髄分節性鎮痛
4	鍼灸治効機序 鍼鎮痛 内因性痛覚抑制系 末梢性鎮痛
5	鍼灸治効機序 軸索反射
6	鍼灸治効機序 一酸化窒素
7	鍼灸治効機序 筋血流の増加
8	鍼灸治効機序 心拍数・血圧
9	鍼灸治効機序 運動反射抑制
10	鍼灸治効機序 自原抑制・拮抗抑制
11	鍼灸治効機序 消化器系・泌尿器系
12	鍼灸治効機序 生体防御系・リラクセーション
13	鍼灸治効機序と臨床の接点 刺激部位・刺激入力
14	鍼灸治効機序と臨床の接点 局所・遠隔治療
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	定期試験、出席
授業の進め方	教科書を補足する資料を用いて解説する。
注意 (学生に望むこと)	鍼灸治効機序は、生理学が主体となっているため、生理学の復習を重ね、基礎を身につけて下さい。
テキスト・参考書	東洋療法学校協会編. はりきゅう理論 第3版. 医道の日本, 2021. 東洋療法学校協会編. 生理学 第3版. 医歯薬出版, 2014.

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	萱場 公雄	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	関係法規	曜日・時間	火曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 保健医療福祉制度の中におけるあん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゆう師の位置付けや職業倫理について理解を深める。生涯を通じて、健康や障害の状況に応じて社会資源を活用できるように必要な知識と基礎的な能力を養うことを目標とする。
 医療法、医師法等の医事法の体系の中での「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」、社会保障法、社会福祉関係法について学ぶ。

＜前期＞		＜後期＞	
回	授業テーマ	回	授業テーマ
1	関係法規入門(1) 関係法規とは、関係法規と医事法(学)	1	あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律(1)法律の沿革、法制定の目的、指定試験(登録)機関の指定
2	(2)法の概念、法の領域、法の存在形式	2	(2)指定試験(登録)機関が試験(登録)事務を行うときの規定の適用
3	(3)法秩序の構成原理、法の解釈	3	(3)免許、免許の取得と取消、名簿、登録事務、学校・養成施設、試験
4	医療法(1)医療法の概要、医療法の目的、医療提供の理念、医療関係者の責務	4	(4)施術者の業務、守秘義務等
5	(2)医療提供施設の種類と定義、類似名称の使用制限	5	(5)施術所に関する規制、広告の制限、免許取消と業務停止
6	(3)医療提供施設の要件、法定人員、構造設備の基準等	6	(6)罰則、両罰規定
7	(4)医療提供施設の管理監督等、医業等の広告の制限	7	(7)医業類似行為とその規制、医業類似行為に関する判例
8	(5)医療計画、医療法人、地域医療連携推進法人、医療審議会、地域保健法	8	その他の関係法規(1)-予防衛生法規、薬事関係法規-感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、予防接種法、医薬品医療機器等法、薬剤師法
9	医師法(1) 医師法の概要、資格法、臨床研修	9	(2)-保健衛生法規-健康増進法、母子保健法、母体保護法、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律
10	(2)業務法、医業と医業類似行為	10	(3)-社会保障関係法規-健康保険法、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法
11	(3)義務法、罰則、秘密保持義務	11	(4)-社会福祉関係法規-社会福祉法、生活保護法、老人福祉法、児童福祉法
12	他の医療関係者に関する法律(1) 歯科医師法、保健師助産師看護師法、診療放射線技師法、臨床検査技師等法	12	(5)障害者基本法、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
13	(2)理学療法士及び作業療法士法、視能訓練士法、言語聴覚士法、臨床工学技士法	13	(6)身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、発達障害者支援法
14	(3)義肢装具士法、救急救命士法、歯科衛生士法、歯科技工士法、柔道整復師法 医師と他の医療関係者の業務の関係、名称独占と業務独占	14	個人情報保護法
◆	前期試験(試験監督は教職員・専任教員)	◆	後期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検	15	評価点検

評価方法	前期、後期の筆記試験による評価。前期試験は、記述問題と選択問題、後期試験は、国家試験に準じた選択問題とする。
授業の進め方	講義方式。医療六法の条文を読み理解する。
注意(学生に望むこと)	授業中の私語は厳禁とする。基本的なマナーを守ること。

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

テキスト・参考書

必要に応じて、レジユメを配布する。
医療六法令和6年版(必携) 前田和彦監修 関係法規 医歯薬出版

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	宮田 正則 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年B
科目名	按摩マッサージ指圧臨床実技	曜日・時間	水曜日 9:10 ~ 10:40

【授業概要・目標】
 実技に多くの時間使いたい。教科書の他、プリントも活用する。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション 治療概論 p2～6
2	各疾患の治療法(腰下肢痛)①
3	各疾患の治療法(腰下肢痛)②
4	各疾患の治療法(膝痛)
5	各疾患の治療法(肩こり・頸肩腕痛)
6	各疾患の治療法(肩関節痛・上肢痛)
7	各疾患の治療法(頭痛)
8	各疾患の治療法(顔面痛・顔面麻痺)
9	各疾患の治療法(眼性疲労)
10	各疾患の治療法(鼻閉・鼻汁)
11	各疾患の治療法(めまい・耳鳴りと難聴)
12	各疾患の治療法(咳嗽・喘息・喘鳴)
13	各疾患の治療法(再度行いたい施術を練習)
14	実技テスト
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	各疾患の治療法(胸痛・腹痛)
2	スポーツ医学におけるあま指療法①
3	スポーツ医学におけるあま指療法②
4	老年医学におけるあま指療法)
5	各疾患の治療法(運動麻痺)
6	各疾患の治療法(高血圧症・低血圧症)
7	各疾患の治療法(食欲不振・悪心嘔吐)
8	各疾患の治療法(便秘と下痢)
9	各疾患の治療法(月経異常・排尿障害)
10	各疾患の治療法(のぼせと冷え)
11	各疾患の治療法(不眠・疲労と倦怠)
12	各疾患の治療法(小児の症状)
13	各疾患の治療法(再度行いたい施術を練習)
14	実技試験
15	評価点検

評価方法	施術態度、習熟度。
授業の進め方	一方通行にならないよう、対話形式で行う。
注意 (学生に望むこと)	触診して施術など、効果が分かるようにして、興味をわかせたい。
テキスト・参考書	テキスト・プリント、東洋医学臨床論

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	神成 有己 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年B組
科目名	鍼灸臨床実技Ⅱ	曜日・時間	火曜日 10:50～

【授業概要・目標】	
①奇経八脈とは何かを理解し基本的な運用方法を理解し、臨床に応用できるようにする。	
②3年間で培った知識を再確認し、国家試験と臨床に対応できるようにする。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	奇経とは何か。奇経総論
2	督脈と陽蹻脉(流注と病証)①と実技
3	督脈と陽蹻脉(流注と病証)②と実技
4	任脈と陰蹻脉(流注と病証)①と実技
5	任脈と陰蹻脉(流注と病証)②と実技
6	帯脈と陽維脉(流注と病証)①と実技
7	帯脈と陽維脉(流注と病証)②と実技
8	衝脈と陰維脉(流注と病証)①と実技
9	衝脈と陰維脉(流注と病証)②と実技
10	奇経療法の原則と考え方
11	経脈主症状の治療原則に基づく実技
12	”
13	実技試験
14	筆記試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	各種配穴を活かし臨床実習
2	”
3	”
4	”
5	”
6	”
7	”
8	”
9	”
10	”
11	”
12	”
13	実技試験
14	筆記試験
15	総合演習③

評価方法	授業への参加と実技試験を主としつつ、筆記試験等も加味しながら評価する。
授業の進め方	学生同士の実習のなかで東洋医学的診断の練習と各種配穴を理解してもらう
注意 (学生に望むこと)	積極的に練習をしてもらいたい。
テキスト・参考書	教科書・プリント配布予定 参考書は授業内などで紹介。

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 武彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	リハビリテーション医学	曜日・時間	水曜日 13:10～

【授業概要・目標】
 リハビリテーション医学の基礎的な概念や評価法等を学び、障害発生に関連する疾患への対応を知る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	リハビリテーションと障害-1
3	リハビリテーションと障害-2
4	リハビリテーション医学と医療-1
5	リハビリテーション医学と医療-2
6	障害の評価-1
7	障害の評価-2
8	障害の評価-3
9	医学的リハビリテーション-1
10	医学的リハビリテーション-2
11	医学的リハビリテーション-3
12	医学的リハビリテーション-4
13	前期総合復習-1
14	前期総合復習-2
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	脳卒中のリハビリテーション-1
2	脳卒中のリハビリテーション-2
3	脊髄損傷のリハビリテーション
4	切断のリハビリテーション
5	小児のリハビリテーション
6	骨・関節疾患のリハビリテーション-1
7	骨・関節疾患のリハビリテーション-2
8	骨・関節疾患のリハビリテーション-3
9	末梢神経障害のリハビリテーション
10	パーキンソン病のリハビリテーション
11	呼吸器疾患のリハビリテーション
12	心疾患のリハビリテーション
13	後期総合復習-1
14	後期総合復習-2
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	出席、定期試験、授業態度、小テストの総合判定とする。
授業の進め方	教科書を中心に講義形式でポイントを確認しながら進め、テーマごとに国試問題の対策も行う。
注意 (学生に望むこと)	1,2年で学んだ基礎医学の内容を確認しながら進めるので、常に復習を心がけること。自身の臨床に必要なと思われる内容は深く勉強してください。
テキスト・参考書	テキスト、その他

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	長岡 靖彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学応用概論	曜日・時間	水曜日 14:50～

<p>【授業概要・目標】 前期: 2学年までに修得した科目について、要点を確認し鍼灸臨床に応用できるようになる。 後期: あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師として必要な基本的知識の要点を確認し、総合的な判断ができるようになる。</p>

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション
2	基礎分野の要点確認(1) 医療概論、衛生学・公衆衛生学 1/2
3	基礎分野の要点確認(2) 医療概論、衛生学・公衆衛生学 2/2
4	基礎分野の要点確認(3) 解剖学 1/3
5	基礎分野の要点確認(4) 解剖学 2/3
6	基礎分野の要点確認(5) 解剖学 3/3
7	基礎分野の要点確認(6) 生理学 1/3
8	基礎分野の要点確認(7) 生理学 2/3
9	基礎分野の要点確認(8) 生理学 3/3
10	基礎分野の要点確認(9) 病理学概論 1/2
11	基礎分野の要点確認(10) 病理学概論 2/2
12	専門基礎分野の要点確認(1) 臨床医学総論1/2
13	専門基礎分野の要点確認(2) 臨床医学総論2/2
14	前期復習
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検 前期復習(2)

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	専門分野の要点確認(1) 東洋医学概論 1/4
2	専門分野の要点確認(2) 東洋医学概論 2/4
3	専門分野の要点確認(3) 東洋医学概論 3/4
4	専門分野の要点確認(4) 東洋医学概論 4/4
5	専門分野の要点確認(5) 経絡経穴概論 1/4
6	専門分野の要点確認(6) 経絡経穴概論 2/4
7	専門分野の要点確認(7) 経絡経穴概論 3/4
8	専門分野の要点確認(8) 経絡経穴概論 4/4
9	基礎分野の要点確認(1) 臨床医学各論 1/5
10	基礎分野の要点確認(2) 臨床医学各論 2/5
11	基礎分野の要点確認(3) 臨床医学各論 3/5
12	基礎分野の要点確認(4) 臨床医学各論 4/5
13	基礎分野の要点確認(5) 臨床医学各論 5/5
14	後期復習
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検 基礎・専門基礎分野の要点確認(15)

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	問題演習を中心として行う。
注意 (学生に望むこと)	復習(曖昧な記憶を教科書で補完すること)を効率的に行って欲しい。
テキスト・参考書	各科目の教科書

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	宍戸 新一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学臨床論 I	曜日・時間	木曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な鍼灸の適否、及び現代医学と東洋医学を総合した施術法について 教授し、 施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション (授業内容の説明等)
2	頭痛について
3	顔面痛について
4	関節痛について
5	疲労と倦怠感について
6	発熱について
7	冷えについて
8	のぼせについて
9	浮腫について
10	掻痒感(痒み)、肌荒れ、発疹について
11	まとめ1
12	まとめ2
13	まとめ3
14	まとめ4
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	頸肩腕痛について
2	上肢痛について
3	肩関節痛について
4	その他疾患について
5	練習問題 I
6	練習問題 II
7	練習問題 III
8	練習問題 IV
9	練習問題 V
10	練習問題 VI
11	練習問題 VII
12	練習問題 VIII
13	練習問題 IX
14	練習問題 X
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	前期:筆記試験による 後期:筆記と練習問題の総合判定による その他:出席状況、授業態度なども考慮する
授業の進め方	教科書に基づいて進めるが、学習状況により内容が前後したり、変更したりすることがある
注意 (学生に望むこと)	授業内容は東洋医学概論・各論、経絡経穴概論、臨床医学総論・各論などの総合科目なので、復習をよくしておくこと
テキスト・参考書	新版 東洋医学臨床論(はりきゅう編)

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	宍戸 新一郎 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年B組
科目名	鍼灸臨床実技Ⅲ	曜日・時間	木曜日 10:50～

【授業概要・目標】	施術者として必要な施術に関する知識と技能について教授し、施術を適切かつ効果的に行う能力と態度を修得させる。 はりきゅう治療の意義と役割、施術者の心構え、衛生管理、施術室の管理、リスク管理など。
------------------	---

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実技のオリエンテーション
2	はりきゅう実技復習Ⅰ
3	はりきゅう実技復習Ⅱ
4	腰部疾患に対する実技訓練Ⅰ
5	腰部疾患に対する実技訓練Ⅱ
6	肩関節疾患に対する実技訓練Ⅰ
7	肩関節疾患に対する実技訓練Ⅱ
8	頸上肢痛に対する実技訓練Ⅰ
9	頸上肢痛に対する実技訓練Ⅱ
10	膝関節疾患に対する実技訓練Ⅰ
11	膝関節疾患に対する実技訓練Ⅱ
12	実技練習
13	実技練習
14	実技練習
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	前期の復習
2	はりきゅう実技試験訓練
3	はりきゅう実技試験訓練
4	はりきゅう実技試験訓練
5	はりきゅう実技試験訓練
6	特殊鍼法
7	特殊鍼法
8	特殊鍼法
9	はりきゅう応用治療実技
10	はりきゅう応用治療実技
11	はりきゅう応用治療実技
12	はりきゅう応用治療実技
13	はりきゅう応用治療実技
14	はりきゅう応用治療実技
15	評価点検

評価方法	出席・定期試験により評価する。
授業の進め方	総合臨床治療技術の習得および認定実技試験の合格を目指す。
注意 (学生に望むこと)	施術者・患者役となるので自己健康管理に留意すること。
テキスト・参考書	なし

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	高橋 はるか (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年B組
科目名	鍼灸臨床実技 I	曜日・時間	木曜日 13:10～

【授業概要・目標】	
①症例を元に問診～的確な検査法の実施～病態把握～カルテのまとめ方	
②症例の復習、局所への鍼灸実技	
問診・検査・実技・カルテ作成全てにおいて臨床できちんと使えることを目標とする。	

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	オリエンテーション (授業内容説明など)
2	頸部症例①
3	頸部症例①-2
4	頸部症例②
5	頸部症例②-2
6	肩部症例①
7	肩部症例①-2
8	肩部症例②
9	肩部症例②-2
10	上肢症例①
11	上肢症例①-2
12	上肢症例②
13	上肢症例②-2
14	前期試験
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	腰部症例①
2	腰部症例①-2
3	腰部症例②
4	腰部症例②-2
5	下肢症例①
6	下肢症例①-2
7	下肢症例②
8	下肢症例②-2
9	膝症例①
10	膝症例①-2
11	膝症例②
12	膝症例②-2
13	まとめ
14	後期試験
15	評価点検

評価方法	実技試験、口頭発表、症例のまとめ
授業の進め方	授業概要の通り、①を実施した翌週は②を実施する。 自分に関わりのある病気、症例について調査、発表も授業内で行う予定。
注意 (学生に望むこと)	作成したカルテは月曜日までに提出すること。
テキスト・参考書	鍼灸臨床『問診・診察ハンドブック』(医道の日本社) 図解『鍼灸療法技術ガイド I・II』(文光堂)

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	臨床医学各論Ⅱ	曜日・時間	木曜日 14:50～

【授業概要・目標】
 施術者として必要な現代医学の立場からみた系統別疾患の診断及び治療に関する基礎的知識について教授し、これを施術に応用する能力と態度を修得させる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	整形外科的治療法
2	骨代謝疾患と骨腫瘍
3	筋・腱の疾患
4	形態異常について
5	脊椎疾患について
6	脳血管疾患
7	感染性疾患・脊髄疾患
8	基底核変性疾患
9	痴呆(認知症)疾患
10	筋疾患
11	運動ニューロン・末梢神経疾患
12	リウマチ・膠原病疾患
13	小児疾患
14	一般外科・麻酔科
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	婦人科疾患
2	皮膚科疾患
3	眼科・耳鼻科疾患
4	精神科疾患・心療内科
5	練習問題Ⅰ
6	練習問題Ⅱ
7	練習問題Ⅲ
8	練習問題Ⅳ
9	練習問題Ⅴ
10	練習問題Ⅵ
11	練習問題Ⅶ
12	練習問題Ⅷ
13	練習問題Ⅸ
14	練習問題Ⅹ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験による評価とする。
授業の進め方	板書・配布資料
注意 (学生に望むこと)	解剖学や生理学の学習内容がベースになるので復習しておくこと。
テキスト・参考書	テキスト:臨床医学各論

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	國分 俊繁 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	東洋医学臨床Ⅲ	曜日・時間	金曜日 9:10～

【授業概要・目標】
 前期: 第1章「疼痛」の範囲、臨床で遭遇する可能性の高い腰下肢疾患の病態把握及び治療を学ぶ。
 後期: 第2章「臓腑と関連する症候」の範囲、前期と同様に第4節「その他の疾患」・第7節「老年特有の症候」について学ぶ。該当範囲が修了したら国家試験の対策授業とする。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	実力試験
2	P127 第1節 腰下肢痛-①
3	P127 第1節 腰下肢痛-②
4	P136 第1節 腰痛-①
5	P136 第1節 腰痛-②
6	P146 第1節 下肢痛-①
7	P146 第1節 下肢痛-②
8	P154 第1節 膝痛-①
9	P154 第1節 膝痛-②
10	P164 第1節 胸痛-①
11	P164 第1節 胸痛-②
12	P170 第1節 腹痛-①
13	P170 第1節 腹痛-②
14	前期まとめ
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	P405 第4節 顔面麻痺
2	P413 第4節 歩行異常
3	P422 第4節 口渇
4	P432 第4節 出血傾向
5	P529 第7節 老年特有の症候
6	国家試験対策問題Ⅰ
7	国家試験対策問題Ⅱ
8	国家試験対策問題Ⅲ
9	国家試験対策問題Ⅳ
10	国家試験対策問題Ⅴ
11	国家試験対策問題Ⅵ
12	国家試験対策問題Ⅶ
13	国家試験対策問題Ⅷ
14	後期まとめ
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	小テストの結果及び定期試験で評価する。
授業の進め方	教科書に沿ったスライド資料を作成、そちらを授業資料として進める。
注意 (学生に望むこと)	国家試験受験の学年となります。授業で聞いた事を吸収してその年の国試に活かせるよう頑張ってください。
テキスト・参考書	新版 東洋医学臨床論(はりきゆう編)

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	糟谷 俊彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	按摩マッサージ指圧理論	曜日・時間	金曜日 10:50～

【授業概要・目標】
手技に関する理論、研究による理論、その他の手技療法などを知る。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	あま指の意義と沿革など
2	あま指の意義と沿革など
3	基本手技の作用など
4	基本手技の作用など
5	生体作用の機転
6	循環系に及ぼす作用
7	神経系に及ぼす作用
8	皮膚、関節、呼吸器等に及ぼす作用
9	あま指の治療効果
10	あま指の治療効果
11	あま指の応用分野
12	あま指の応用分野
13	あま指の治効理論
14	あま指の治効理論その他
◆	前期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	内臓一体表反射
2	レイリー現象、サイバネティクス
3	ゲートコントロールセオリー、 脳内モルヒネ
4	圧反射、反応の逆転現象
5	古法按摩
6	按摩手引
7	カイロプラクティック、オステオパシー、 スポンディロセラピー
8	その他の手技療法
9	その他の手技療法
10	その他の手技療法
11	スポーツマッサージの研究
12	スポーツマッサージの研究
13	遅発性筋痛に対する手技療法の効果 など
14	手技療法が自律神経機能へ及ぼす 影響など
◆	後期試験 (試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検

評価方法	筆記試験・・・65点以上合格
授業の進め方	座学
注意 (学生に望むこと)	手技に関する理論などを理解する
テキスト・参考書	あん摩マッサージ指圧理論、その他

2024年 仙台赤門医療専門学校 シラバス

担当者名	長岡 靖彦 (実務経験のある教員)	学科・年	鍼灸マッサージ東洋医療科 3年
科目名	鍼灸理論Ⅱ(半期)	曜日・時間	後期) 金曜日 13:10～

【授業概要・目標】
2学年までに修得した基礎分野の科目について、要点を確認し鍼灸臨床に応用できるようになる。

＜前期＞	
回	授業テーマ
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
◆	
15	

＜後期＞	
回	授業テーマ
1	基礎・専門基礎分野の要点確認(1)
2	基礎・専門基礎分野の要点確認(2)
3	基礎・専門基礎分野の要点確認(3)
4	基礎・専門基礎分野の要点確認(4)
5	基礎・専門基礎分野の要点確認(5)
6	基礎・専門基礎分野の要点確認(6)
7	基礎・専門基礎分野の要点確認(7)
8	基礎・専門基礎分野の要点確認(8)
9	基礎・専門基礎分野の要点確認(9)
10	基礎・専門基礎分野の要点確認(10)
11	基礎・専門基礎分野の要点確認(11)
12	基礎・専門基礎分野の要点確認(12)
13	基礎・専門基礎分野の要点確認(13)
14	後期復習
◆	後期試験(試験監督は教職員・専任教員)
15	評価点検 基礎・専門基礎分野の要点確認(14)

評価方法	定期試験の結果をもってその学期の評価とする。
授業の進め方	問題演習を中心として行う。
注意 (学生に望むこと)	広い範囲の要点の確認を行なうため、予習よりも効率的な復習を心掛けて欲しい。
テキスト・参考書	各科目の教科書

科目名	学年	授業時間数	教員名	実務経験	業務内容
解剖学Ⅲ	1	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
生理学Ⅰ	1	60	高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
生理学Ⅱ	1	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
衛生学・公衆衛生学	1	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
医療概論	1	30	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅰ	1	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学概論Ⅱ	1	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
経絡経穴概論Ⅱ	1	30	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅰ	1	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅱ	1	60	高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧基礎実技Ⅲ	1	60	武藤 永治	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
鍼灸基礎実技	1	60	國分 壮一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅰ	1	45	高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
運動学	2	60	吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
病理学概論	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学総論	2	60	煙山 貴之	20年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅰ	2	60	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅰ	2	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床経穴論	2	60	柏倉 利一	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋療法診断法Ⅱ	2	30	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅰ	2	60	山田 秀一郎	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅱ	2	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧応用実技Ⅲ	2	60	佐藤 光恵	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅰ	2	60	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			吉本 豊	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
鍼灸応用実技Ⅱ	2	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅱ	2	45	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
			高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅲ	2	45	三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
			古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
臨床医学各論Ⅱ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
リハビリテーション医学	3	60	高橋 武彦	20年以上	病院、治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で柔道整復の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧理論	3	60	糟谷 俊彦	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅰ	3	60	渡部 正司	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸理論Ⅱ	3	30	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学各論Ⅱ	3	60	浦山 久嗣	30年以上	治療院を開業した経験を持つ。
東洋医学臨床論Ⅰ	3	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅱ	3	60	川嶋 睦子	20年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
東洋医学臨床論Ⅲ	3	60	國分 俊繁	10年以上	治療院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸、柔道整復の臨床をおこなっている。
東洋医学応用概論	3	60	長岡 靖彦	20年以上	病院での勤務経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
按摩マッサージ指圧臨床実技	3	60	宮田 正則	30年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も治療院で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅰ	3	60	伊東 太郎	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			高橋 はるか	5年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅱ	3	60	神成 有己	5年以上	治療院で勤務した経験を持ち、現在も治療院で柔道整復、鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
鍼灸臨床実技Ⅲ	3	60	宍戸 新一郎	20年以上	治療院に勤務した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
臨床実習Ⅳ	3	45	古川 雄一郎	5年以上	治療院で勤務したを持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸の臨床をおこなっている。
			三保 翔平	10年以上	治療院を開業した経験を持ち、現在も学校付属の治療所で鍼灸・あん摩マッサージ指圧の臨床をおこなっている。
合計		2400			